

美郷から始める 脱炭素化社会

(ゼロカーボン)

脱炭素化社会(ゼロカーボン)とは?

2050年までに、温室効果ガス排出量を森林などによる吸収量を差引いて、全体として実質ゼロにすることを意味しています。

現在、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガス削減が世界で課題となっており、菅総理大臣が所信表明演説で「2050年カーボンニュートラル」を宣言しました。美郷町は令和3年3月議会において「ゼロカーボンシティ」の宣言を行いました。7月30日現在、全国で432の自治体(う

ち島根県は4自治体)がゼロカーボンシティ宣言を行っています。

美郷町は、脱炭素化社会実現のために従来から県内でもトップクラスの取り組みを行っています。豊かな自然環境もあり、町全体ではCO₂の排出量よりも、森林が吸収できる量がすでに上回っていますが、国全体で温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするために、今後も様々な取り組みを行っていきます。これらを踏まえ、美郷町は

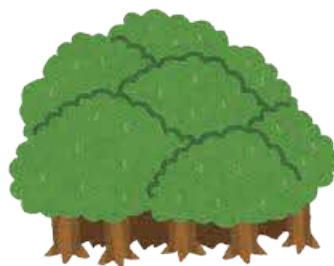
「ゼロカーボンシティ 先進地 宣言」
をしました。(2021年4月7日)

現在の美郷町



CO₂発生量 44,700t/年

※令和3年3月末時点 吸収・排出量は国立環境研究所、林野庁の計算方法による



CO₂吸収量 211,000t/年

排出しているCO₂よりも、吸収しているCO₂の方が多いので既にゼロカーボンを達成しています。



01 CO₂ 排出削減にむけた 先進的な取り組み

行政施設への太陽光発電・蓄電池設備 設置

ぼうさいきょてんせいび じぎょう 「防災拠点整備事業」

役場本庁舎・みさと館・公民館等の指定避難所等計10施設へ太陽光発電設備と蓄電池設備を設置

役場本庁舎	吾郷公民館
みさと館	悠花の郷やなしお
防災センター	君谷公民館
沢谷公民館	都賀行公民館
浜原隣保館	比之宮公民館

この事業により、上記の施設のCO₂排出量**80% (270 t /年)**が削減できました。





充実した美郷町独自の補助金制度

太陽光発電設備を設置すると

太陽光発電設備を自宅に設置すると
最大で24万円の補助が受けられます。



蓄電池を同時に設置すると
プラス 10万円

いずれも設置前に申請が必要です。

その他の新エネルギー設備設置など、詳しくは美郷町のHPをご覧ください。下記まで問い合わせください。

令和3年3月末までに51件の設備補助を行っています。
これにより、150 t /年のCO₂排出削減につながっています。

☎企画推進課 ☎75-1924



電気自動車 (EV) やプラグインハイブリット車 (PHV) を購入すると

電気自動車を購入すると最大87万円の補助が受けられます。

- | | |
|-------------|--------|
| ①：国の補助金 | 最大42万円 |
| ②：美郷町の補助金 | |
| 1》車購入分 | 最大30万円 |
| 2》災害時防災協定分* | 15万円 |
| V2H設備設置分 | 10万円 |

※災害時防災協定とは…災害等による停電発生時に、可能な範囲で地域の避難所などにEV、PHVの電力を提供いただくものです。ご同意いただける方には、スマートフォンの充電や非常用ライトなど各種電気器具への電力提供をお願いすることがあります。

(☆島根県内で独自の補助があるのは美郷町だけです☆)

申請には様々な条件があります。購入をお考えの場合は事前に下記へご相談ください。

電気自動車1台あたり 1.8 t /年のCO₂排出削減効果につながります。

☎総務課 ☎75-1211



更なる取り組みの推進

ドローン物流網の検討 (空の駅構想)

2021年1月に、ドローン配送の実証実験を実施しました。今後も引き続き、ドローンによる物流の検討を行っていきます。

ドローン導入により、CO₂排出削減が期待できます。



公用車の電気自動車 比率を拡大

公用車で、ガソリン仕様の軽自動車・普通車を順次電気自動車に更新していきます。これにより、2050年までに合計40台72t/年のCO₂排出削減が期待できます。



※写真はイメージです

森林の維持保全

美郷町の豊かな森林環境を維持保全していきます。

